

V 実査の結果

1 調査結果

(1)有効回収数(率) 2,258 票 (75.3%)

(2)内訳

設計数	発送数 ※1	返送数 ※2	有効 回収数 ※3	不能数	不能内訳					
					未発送	未返送	締切り 後提出	白紙 提出	記入 不備	代理 回答
3,000	2,989	2,326	2,258	742	11	638	25	10	3	55

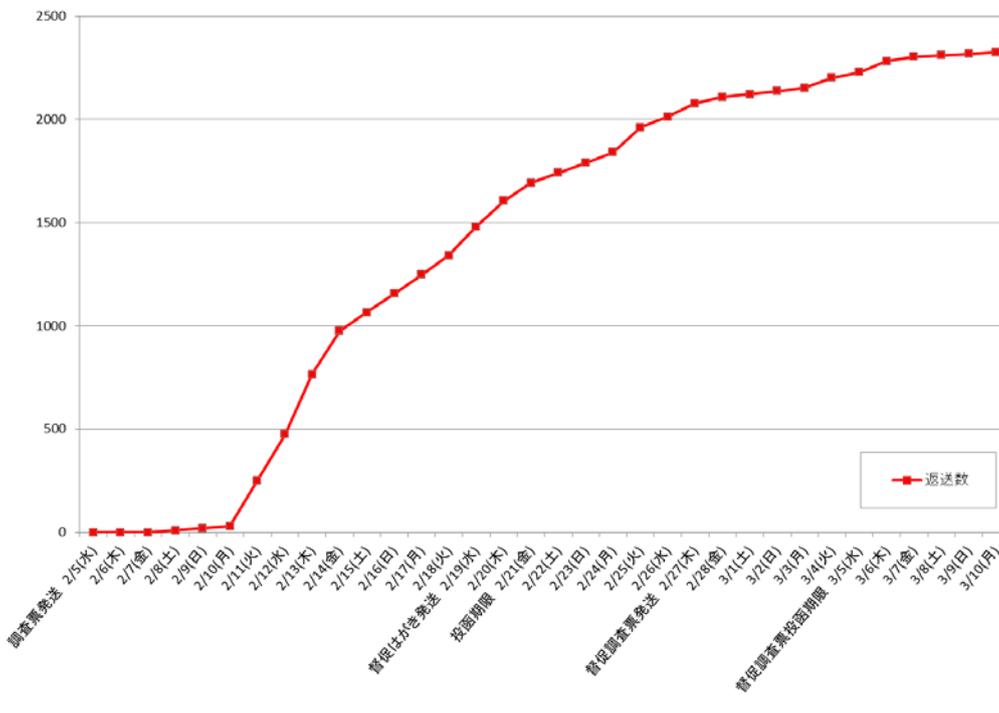
※1 依頼はがき発送後、調査協力拒否の連絡があった11件には調査票の発送を控えた。

※2 返送数には、調査票と督促調査票の重複提出分は含んでいない。重複提出があった9件については、先に返送があった票をカウントした。

※3 返送数のうち、68票は「白紙提出」「記入不備」「代理回答」のため、有効回収数から除外した。

2 日別返送数

3月10日までに回収した2,326票(無効票含む)の、返送数の推移は以下の通り。



月日	日別返送数	累計
2/8(土)	10	10
2/9(日)	10	20
2/10(月)	10	30
2/11(火)	222	252
2/12(水)	222	474
2/13(木)	292	766
2/14(金)	210	976
2/15(土)	90	1,066
2/16(日)	90	1,156
2/17(月)	92	1,248
2/18(火)	93	1,341
2/19(水)	141	1,482
2/20(木)	123	1,605
2/21(金)	87	1,692
2/22(土)	49	1,741
2/23(日)	49	1,790
2/24(月)	51	1,841
2/25(火)	121	1,962
2/26(水)	50	2,012
2/27(木)	65	2,077
2/28(金)	31	2,108
3/1(土)	14	2,122
3/2(日)	14	2,136
3/3(月)	16	2,152
3/4(火)	49	2,201
3/5(水)	28	2,229
3/6(木)	52	2,281
3/7(金)	23	2,304
3/8(土)	7	2,311
3/9(日)	7	2,318
3/10(月)	8	2,326

* 土日・祝日は調査票の受け取りをしていない。上記グラフでは、調査票の受け取りのない日については休み明けの受け取り件数を按分して作成した。

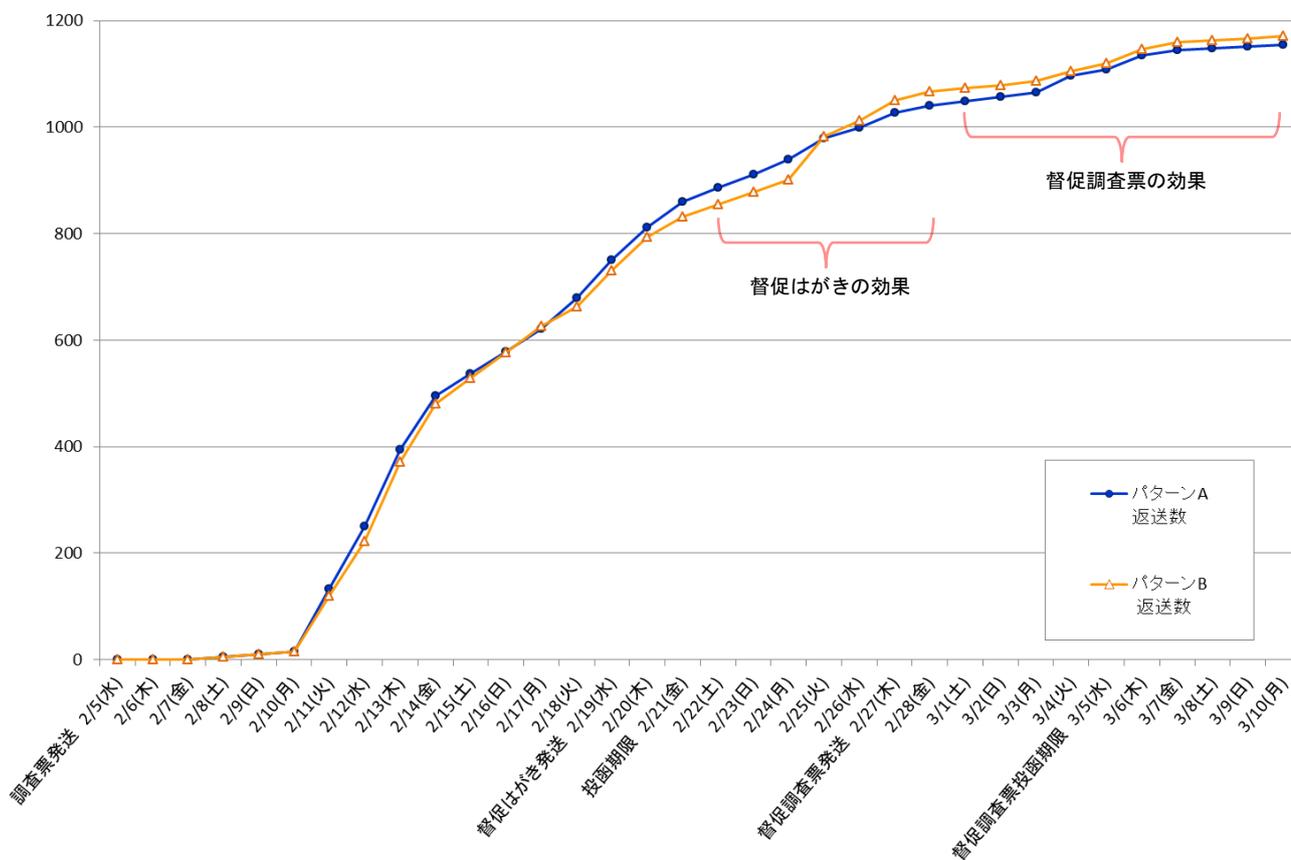
3 督促の効果

サンプル No.に応じてAとBに分類し、2月19日までに回収が得られなかった対象者に対しては、グループに応じて督促はがきを発送した。

パターンA（協力の「感謝」を伝える文書の督促はがき）：729件

パターンB（協力の「依頼」を伝える文書の督促はがき）：747件

パターンAとパターンBのそれぞれの調査票返送数(無効票含む)の推移は以下の通り。



督促はがき(2月19日発送)の効果が出ると想定される2月22日～28日の7日間の返送数を見ると、

パターンA：181件

パターンB：235件

と、パターンB(協力の「依頼」を伝える文書)で、回収効果が高い結果となった。

パターンA(協力の「感謝」を伝える文書)についても、文面自体では協力依頼を促すものであったが、最も目をひく「タイトル」が影響していると思われる。

なお、調査期間中の2月7日～9日及び2月14日～16日にかけての大雪により、対象者からの提出や郵便配達遅れが発生した可能性がある。

最終的な返送数は、督促前も含めると パターンA:1,155 票 パターンB:1,171 票であった。
督促はがき、督促調査票到着後の返送状況は以下の表の通り。

	【2/5～2/21】 調査票発送～ 督促はがきが届く前まで	【2/22～2/28】 督促はがき到着～ 督促調査票が届く前まで	【3/1～3/10】 督促調査票到着後	計
パターンA (督促はがき「感謝」)	860 74.5%	181 15.7%	114 9.9%	1,155
パターンB (督促はがき「依頼」)	832 71.1%	235 20.1%	104 8.9%	1,171
合計	1,692 72.7%	416 17.9%	218 9.4%	2,326

督促はがき到着の影響がある前までの回収数 1,692 票 (回収のうち 72.7%)
督促はがきの影響が出て、督促調査票の影響が出る前までの回収数 416 票 (回収のうち 17.9%)
督促調査票の影響が出ての回収数 218 票 (回収のうち 9.4%)

なお、督促調査票の影響が出てからの返送数 218 票のうち、
初回に発送した調査票(レモン色) 64 票
再送した督促調査票(さくら色) 154 票

4 属性分析

(1) 性・年代別返送率

対象者抽出時のリストに対して、性・年代別の返送率は以下の通り。

※郵送調査の返送数及び有効回収数のうち、整理番号が不明(対象者が番号部分を破棄)の票が1票あるため、ここでは除外している。

郵送調査(返送数)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	計
男性	97 60.2%	137 64.6%	218 69.6%	198 80.5%	241 84.3%	268 86.2%	1,159 75.8%
女性	88 69.3%	176 75.2%	173 72.7%	168 81.6%	267 90.5%	294 79.2%	1,166 79.3%
計	185 64.2%	313 70.2%	391 71.0%	366 81.0%	508 87.4%	562 82.4%	2,325 77.5%

郵送調査(有効回収数)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	計
男性	93 57.8%	135 63.7%	215 68.7%	196 79.7%	233 81.5%	248 79.7%	1,120 73.3%
女性	86 67.7%	174 74.4%	171 71.8%	168 81.6%	263 89.2%	275 74.1%	1,137 77.3%
計	179 62.2%	309 69.3%	386 70.1%	364 80.5%	496 85.4%	523 76.7%	2,257 75.2%

【参考】面接調査

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	計
男性	186 39.2%	339 45.7%	515 54.0%	461 58.7%	639 67.1%	676 66.9%	2,816 57.3%
女性	233 46.2%	454 62.4%	621 71.2%	554 73.7%	703 73.8%	805 63.1%	3,370 66.3%
計	419 42.8%	793 54.0%	1,136 62.2%	1,015 66.0%	1,342 70.4%	1,481 64.8%	6,186 61.9%

郵送調査では、全ての性・年代で回収率の上昇がみられる。

(2) 性・年代別推移

返送数を100%とした場合の、性・年代別推移は以下の通り。

性別	年代	【2/5～2/21】 調査票発送～ 督促はがきが届く前まで		【2/22～2/28】 督促はがき到着～ 督促調査票が届く前まで		【3/1～3/10】 督促調査票到着後	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合
男性	20歳代	58	59.8%	25	25.8%	14	14.4%
	30歳代	89	65.0%	26	19.0%	22	16.1%
	40歳代	149	68.3%	42	19.3%	27	12.4%
	50歳代	144	72.7%	32	16.2%	22	11.1%
	60歳代	189	78.4%	36	14.9%	16	6.6%
	70歳以上	220	82.1%	27	10.1%	21	7.8%
	小計	849	73.3%	188	16.2%	122	10.5%
女性	20歳代	56	63.6%	23	26.1%	9	10.2%
	30歳代	122	69.3%	33	18.8%	21	11.9%
	40歳代	114	65.9%	49	28.3%	10	5.8%
	50歳代	133	79.2%	29	17.3%	6	3.6%
	60歳代	205	76.8%	40	15.0%	22	8.2%
	70歳以上	212	72.1%	54	18.4%	28	9.5%
	小計	842	72.2%	228	19.6%	96	8.2%
合計		1,691	72.7%	416	17.9%	218	9.4%

男性は60歳代・70歳代が先行して回収された。20歳代は督促によって回収された。

女性は50歳代・60歳代が先行して回収された。20歳代・40歳代は督促によって回収された。

5 代理回答の状況

郵送調査では、面接調査と違い本人確認をすることができないので、今回の調査票では「誰が回答したのか」を確認する設問を入れている。

調査票問39(「今回の世論調査にご回答いただいたのは、どなた様ですか」)の回答結果は以下の通り。

- ・対象者本人が回答(選択肢「1. 郵便宛名のご本人様」) 2,227 件(95.8%)
- ・本人以外が回答(選択肢「2. 代理の方」) 61 件(2.6%)
- ・無回答 37 件(1.6%)

※整理番号が不明の1票については、対象者抽出時のリストとの比較ができないため除外している。

「回答者が調査票に記入した性・年齢」と「住民基本台帳から抽出した際の性・年齢」を突き合わせた結果は以下の通り(10歳未満の差は一致とみなす)。

- ・性年齢が一致 2,252 件(96.9%)
- ・性年齢が不一致 43 件(1.8%)
- ・調査で性または年齢を無回答 30 件(1.3%)

これらの情報をクロスしてみると、以下の通り。

	性年齢一致	性年齢不一致	性年齢無回答	計
本人回答申告	① 2,193	② 19	③ 15	2,227
代理回答申告	④ 37	⑤ 23	⑥ 1	61
無回答	⑦ 22	⑧ 1	⑨ 14	37
計	2,252	43	30	2,325

今回の郵送調査では、問39での記入者の回答を判断基準とし、回収率を算出する際の有効・無効の区別は以下のように定めた。

- ① 本人回答申告 — 性年齢一致・・・・・・・・・・ 有効
- ② 本人回答申告 — 性年齢不一致・・・・・・・・・・ 有効
- ③ 本人回答申告 — 性年齢無回答・・・・・・・・・・ 有効
- ④ 代理回答申告 — 性年齢一致・・・・・・・・・・ 無効
- ⑤ 代理回答申告 — 性年齢不一致・・・・・・・・・・ 無効
- ⑥ 代理回答申告 — 性年齢無回答・・・・・・・・・・ 無効
- ⑦ 無回答 — 性年齢一致・・・・・・・・・・ 有効
- ⑧ 無回答 — 性年齢不一致・・・・・・・・・・ 有効
- ⑨ 無回答 — 性年齢無回答・・・・・・・・・・ 有効

【①～③】

調査票に「本人回答申告」があったものについては、「性年齢の一致・不一致」に関わらず全て有効票とした。

※ただし、調査票の記入不備につき 1 票を無効扱いとしている。

【④～⑥】

調査票に「代理回答申告」があったものについては、「性年齢の一致・不一致」に関わらず全て無効票とした。

※ただし、本人が高齢・病気等のため記入を手伝った旨が補記されていた 6 票のみ、今回は有効票とした。

【⑦～⑨】

今回は「代理回答申告」があったもののみ無効票としているので、「無回答」だったものについては、「性年齢の一致・不一致」に関わらず全て有効票とした。

※ただし、調査票の白紙提出・記入不備につき 12 票を無効扱いとしている。

上記を踏まえて、有効票とした票数は以下の通り。

	性年齢一致		性年齢不一致		性年齢無回答		計	
	到着数	有効数	到着数	有効数	到着数	有効数	到着数	有効数
本人回答申告	① 2,193	2,192	② 19	19	③ 15	15	2,227	2,226
代理回答申告	④ 37	6	⑤ 23	0	⑥ 1	0	61	6
無回答	⑦ 22	22	⑧ 1	1	⑨ 14	2	37	25
計	2,252	2,220	43	20	30	17	2,325	2,257

*有効・無効の区別については、今回はあくまで記入者の回答により行ったが、上記のとおり、代理回答申告の有無に関わらず、対象者の記入した性年齢が住民基本台帳からの抽出情報と一致しない票もある。

記入誤りや、対象者が意識せずに代理回答となっている等、様々なケースが起こっていると考えられ、この点については今後もさらなる確認・検討が必要である。

6 戻り郵送

「宛先不明」など戻り郵便があった場合でも、調査票、督促調査票については毎回発送した。

- ・調査票が戻ってきた対象者に対しては、一度調査票が戻ってきてしまったことを一筆入れて発送した。
- ・戻り郵便について、住所を1つ1つ地図情報と照らし合わせ、マンション名の間違いと思われるものについては修正するようにした。
- ・戻り郵便には、住所に方書きが不足しているために届かないと思われるものもあった(住民票に方書を登録していないケースや、自治体が方書を非公開としているケースなど)。

戻り郵便の件数

①依頼はがきの戻り郵便	20 件
②調査票の戻り郵便	21 件
③督促調査票の戻り郵便	17 件

上記の戻り郵便①～③のうち、

- ・全てで戻り郵便となったもの 11 件
- ・いずれか2つで戻り郵便となったもの 9 件
- ・1つだけ戻り郵便となったもの 7 件

計、27 件にて少なくとも1度の戻りがあった。この27 件において、回収につながったものは0 件。

7 受電件数

依頼はがき・送信用封筒には内閣府及び調査会社、調査票には調査会社の連絡先を記載している。

依頼はがき発送後～調査期間終了までの対象者からの電話での問い合わせ件数は以下の通り。

・内閣府への問い合わせ	16 件
依頼はがき発送後	8 件(うち、調査実施の確認 4 件、調査拒否 1 件)
調査票発送後	8 件(うち、調査実施の確認 5 件)
・中央調査社への問い合わせ	53 件
依頼はがき発送後	8 件(うち、調査拒否 1 件、病気・入院 5 件)
調査票発送後	45 件(うち、調査拒否 8 件、病気・入院 9 件)